

令和3年7月26日～8月1日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和3年度第13報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

この期間の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「**嚴重警戒**」を示す28以上となる日が続きました。6都市の10年間平均値と比較すると、ほぼ同程度か、やや高い日が続きました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全国的に28以上の日があり、東京、名古屋、高知、福岡、鹿児島、那覇は31以上となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、全国的に28以上で、北陸地方以南では31以上となる日もありました。

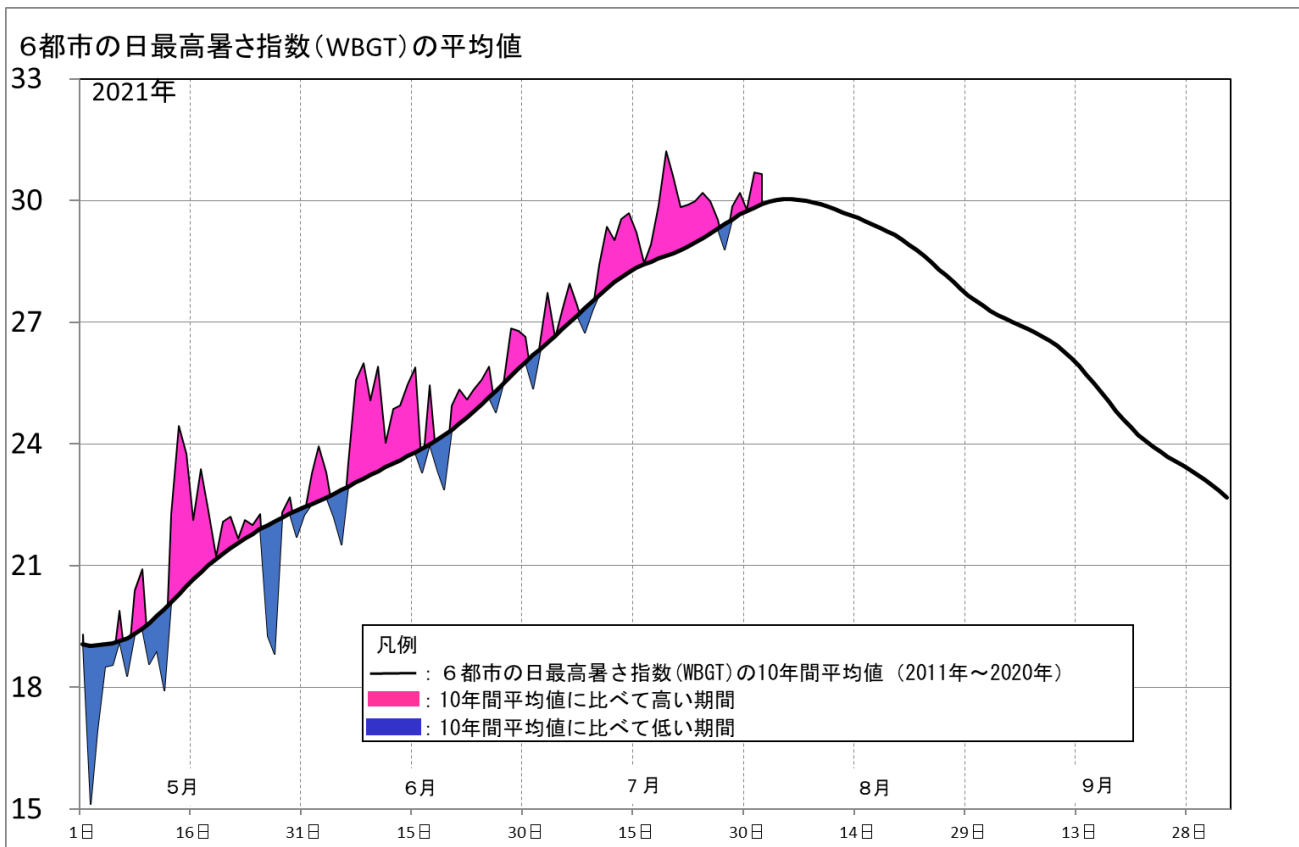


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月26日～8月1日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
26	25.5	26.2	28.9	29.0	30.7	29.2	28.5	28.9	30.8	29.4	30.2	29.5
27	28.9	27.4	28.4	26.7	27.3	29.8	28.8	30.5	31.8	31.3	30.4	28.8
28	29.7	27.1	29.3	31.2	30.5	29.1	28.2	29.8	30.9	31.0	31.3	29.9
29	28.0	28.8	30.8	30.8	30.5	29.5	29.3	30.8	30.3	31.7	30.5	30.2
30	28.6	28.2	30.1	29.2	30.6	30.3	28.0	30.6	30.4	31.4	30.9	29.8
31	29.6	29.4	30.0	30.7	31.5	30.7	28.7	31.3	32.6	31.0	32.2	30.7
1	28.5	30.1	30.0	32.0	30.8	30.3	29.3	31.7	31.5	31.6	30.9	30.7

(注1) 6都市: 東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

(注2) 11都市: 札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

(注3) 表1、表2の値は速報値であり、年末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月26日～8月1日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	4	1	0	0	4	5	8	6
28以上	20	13	31	35	44	37	26	62	58	54	65
25以上	64	59	92	91	112	110	77	122	132	103	168

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

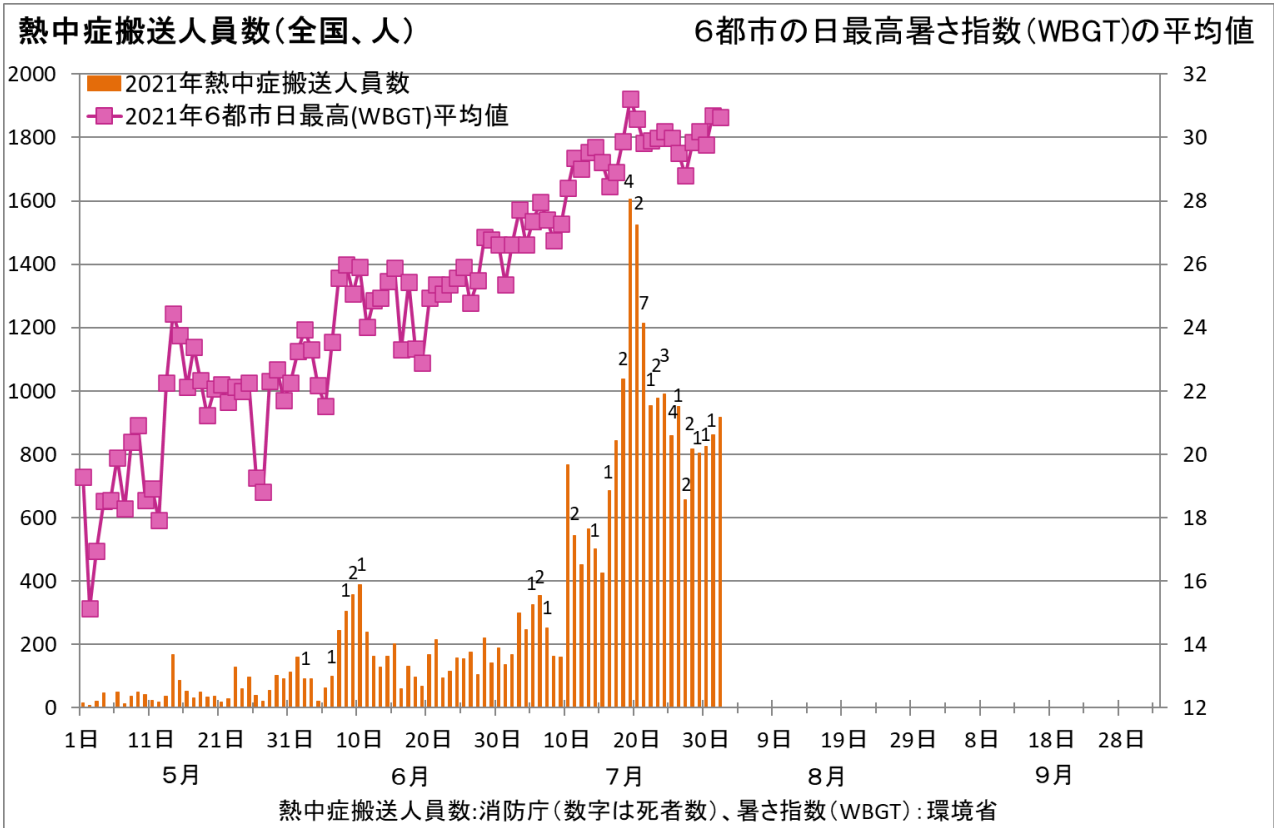


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

7月26日から8月1日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「嚴重警戒」を示す28以上となる日が続きました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、7月26日の950名が最高で、この期間の総数は5,831人(死者8名を含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月26日から8月1日までの全国の熱中症警戒アラート発表状況は以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月26日から8月1日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0.3	0.3	0.2	1.8	0.3	0.8
のべ回数	2	2	2	7	1	5
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美		沖縄
域内平均 ^{※2}	1.8	2	3.8	1		2
のべ回数	7	8	23	3		8

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

8月6日までは、全国的に「危険」を示す31以上となる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（8月4日発表、予報期間：8月5日～8月11日）によると、「最高気温と最低気温は、北日本と東日本および西日本日本海側は平年並か平年より高い所が多く、平年よりかなり高い所もあるでしょう。熱中症など健康管理に注意してください。西日本太平洋側と沖縄・奄美は、平年並か平年より低く、平年よりかなり低い所もある見込みです。」となっております。

○全国的に猛烈な暑さが続いており、熱中症にかかりやすく、例年救急搬送される方が多くなる時期です。引き続き熱中症に十分お気を付け下さい。

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷				
上川・留萌		網走・北見・紋別				
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室			
胆振・日高						
渡島・檜山						
				青森		
				秋田	岩手	
				山形	宮城	
		北陸		福島		
		石川	富山	新潟		
		福井	岐阜	長野	群馬	栃木
		滋賀	山梨	埼玉	茨城	
		京都	奈良	三重	愛知	静岡
		大阪	和歌山	東海	東京	千葉
		兵庫			神奈川	
		中国				
		山口	島根	鳥取	岡山	広島
		九州北部				
		長崎	佐賀	福岡		
		熊本	大分			
		九州南部	鹿児島	宮崎		
		奄美				
				四国		
				愛媛	香川	
				高知	徳島	
				近畿		
				沖縄		
				沖縄本島		
				八重山	宮古島	
				大東島		